



2022年7月

## AIPPI News

---

### 2022年 AIPPI サンフランシスコ総会 - 創立 125 周年

Anne Marie Verschuur, AIPPI Reporter General



2022年9月10日～13日にサンフランシスコで開催される AIPPI 総会では、世界中から訪れる知的財産分野の実務者と交流できるイベントや、質の高い研修プログラム（CLE 単位申請済）、知的財産制度のハーモナイゼーションを促進する建設的な提言を行うための決議採択などが行われます。

交流の機会としては、ダイバーシティ&インクルージョン、知的財産とワイン、落書きやストリートアートに対する著作権などをテーマとする昼食会、さらには、カリフォルニア科学アカデミー主催の Cultural Evening、アイルランド風 Closing Dinner もあります。好評の AIPPI Café では、世界各国の知的財産分野の実務者と、さまざまなテーマについて自由に意見を交わすことができます。

パネルセッションには、Pharma Day や、EU 裁判官による模擬裁判が行われる UPC Boot Camp、米国および欧州の判例法に関する最新情報や、世界各国の知財に関する最新動向の紹介などがあります。その他のテーマとしては、非代替性トークン（NFT）やメタバースの最新情報、包袋禁反言、オンライン・マーケットプレイスにおける法的責任、知的財産のオープンイノベーション、商標使用の証明、従来の知的財産保護に代わる不正競争に基づく保護などがあります。

知的財産法の世界的なハーモナイゼーションに取り組みつつ、125周年を祝います。サンフランシスコ総会では、著作権人格権、民事訴訟における営業秘密、商標とインターネット／ソーシャルメディア、そして診断方法の特許適格性という議題について、知的財産法のハーモナイゼーションに関する決議案を、各国の代表が共同で作成します。みなさんとお会いで

きるのを心待ちにしています。

[参加登録](#)

## ハイライト

---

### 2022年 AIPPI Young Member サミット

Debbie David and Samantha Yung, Young AIPPI members Advisory Committee



AIPPI 創立 125 周年の記念行事が続いていますが、6 月 23 日には、記念すべき第 1 回の AIPPI Young Member サミットがオンラインで開催されました。

[続きを読む](#)

## その他の最新情報

---

### 本部常設委員会に Young Member の追加枠

AIPPI では、会員の皆様の参加を促す方法をたえず模索しており、その一環として、本部の常設委員会に Young Member（36 歳以下）の追加枠を設けます。今後、Young Member であることを条件として、いずれかの常設委員会で追加の委員 1 名が選任されます。

[続きを読む](#)

### 年次活動報告の紹介：フランス部会

新コーナー：今回より、各国・地域の部会から提出された 2021 年の活動報告について、主なものを紹介します。第 1 回の今月はフランス部会です。

[報告書を見る](#)

## 法制度・事例解説

---

### ブラジル：特許審査の迅速化

**Pedro Moreira - Dannemann Siemsen, Brazil**

あらゆる法的効力にかかわらず、特許によって与えられる産業財産権は動産と見なされ、ブラジル特許商標庁における出願日から 20 年にわたり、特許権者は、許可を得ていない第三者による、特に商業活動における特許品の製造および販売を阻止する権利があります。



[続きを読む](#)

### ブラジル：報酬を受ける権利の行方

**José Roberto de Almeida Júnior and Isabella Casagrande de Miranda Caribé - Mattos Filho, Veiga Filho, Marrey Jr e Quiroga Advogados, Brazil**

立法府では、欧州における出版社の報酬権のブラジル版を制定しようとしています。このフェイクニュース対策法案（法案 No. 2,630/2020）が成立すれば、インターネット・サービス・プロバイダーは、報道コンテンツの使用について、今後定められる形式と基準に従い、報道会社に報酬を支払うこととなります。しかし、現在の文言には欠陥があり、この法案の本来の目的とは逆の効果をもたらす恐れがあります。



[続きを読む](#)

### カナダ：特許規則の改正

**John Harris and Kevin Banaschewski - Gowlings WLG, Canada**

カナダは長きにわたり、特許出願人にやさしい法域とされてきましたが、カナダ・米国・メキシコ協定（CUSMA）で義務付けられる



特許期間調整制度を導入するにあたり、審査プロセスの合理化によって不要な遅延を避けるために、特許規則が改正されます。

[続きを読む](#)



## 日本：特許の非公開制度

**TMI 総合法律事務所 都野真哉**

経済安全保障推進法が、今年 5 月に参議院本会議で可決され、完全施行される見通しとなりました。同法は、サプライチェーンの強化、基幹インフラの安全確保、官民による先端技術開発、特許の非公開制度の導入という 4 本柱で構成されます。現行法には、特許の非公開制度の規定はありません。

[続きを読む](#)



## 戒厳令下のウクライナにおける知的財産関連の期限について

**Slobodan Petošević - PETOŠEVIĆ, Luxembourg**

ウクライナにおける知的財産関連の期限が、戒厳令によって実際にどのような影響を被るかについて、これまではっきりしたことは言えませんでした。戒厳令は 2022 年 2 月 24 日に発令され、5 月 25 日まで継続します。

[続きを読む](#)

## タイ：政府出資の研究による知的財産の所有権を移転させるタイ版バイドール法

**Sher Hann Chua, Chariyaphon Vachanavuttivong - Tilleke & Gibbins, Thailand**

タイでは、米国、日本、韓国などで成果を上げているバイドール法にならい、タイ研究・革新・利用促進法 (TRIUP 法) B.E. 2563 (2021) が制定されました。



[続きを読む](#)



## 英国：世界的なオンライン・マーケットプレイスにおけるターゲティングに関する控訴院判決

**Kendal Watkinson - Hogarth Chambers, UK**

2022年5月4日、Lifestyle Equities & Anr v. Amazon & Ors [2022] EWCA Civ 552 事件の判決が言い渡され、イングランド・ウェールズ控訴院は、米国 Amazon のウェブサイトに掲載された「BEVERLY HILLS POLO CLUB」の商標を付した商品は、英国の消費者をターゲットにしたものであり、よって Amazon は、Lifestyle Equities の英国商標に対する侵害の責任を負うと判示しました。

[続きを読む](#)

## 各国部会

---

### 中米カリブ地域部会：コスタリカでの ASIPI セミナーにおける朝食会

米州知的財産協会 (ASIPI) によるセミナーが、コスタリカの Los Sueños Marriott Ocean & Golf Resort で開催され、AIPPI 中米カリブ地域部会は、サロン・ワインバーでの朝食会を主催しました。



[続きを読む](#)

### 日本部会：英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』最新号 (Vol 48, No.3)

**AIPPI JAPAN 阿部正俊**

